



## 団塊の世代、2025年の高齢者



アサヒグローバル株式会社 代表取締役  
ゴールドトラスト株式会社 代表取締役  
ゴールドエイジ株式会社 代表取締役  
文/久保川 議道  
text:Yoshimichi Kubokawa

ホームページ

- asahiglobal.co.jp
- global-mie.co.jp
- super-chintai.com
- agg-hd.co.jp
- goldtrust.co.jp
- goldage.co.jp
- kubokawayoshimichi.com

あーホント迷いますね。カッコ良く言いますと『社長』とは会社の10年先を考えている人のことです。ですからだいたいこの『2025年問題』の806万人の団塊の世代が全員75歳になった頃に、ゴールドエイジはどんな『住宅』と『介護』と『医療』を提供すればいいのか...?と云うのが『私の悩み』です。

今の入居者、利用者様とは全く違う『新しい世代』の高齢者は一体何を要求されるのか...?高級ホテルの様なゴールドエイジでしょうか。グルメなお食事か。趣味のサークル活動か。国内旅行、海外旅行なのか。海外移住なのか。

入居者の平均年齢は今は 83歳ですが、2025年には75歳〜65歳になるのではないかと私は考えています。ですから介護も医療も当然に今まで通りに必要ですが、もつともつと『アクティブシニア』がゴールドエイジにご入居されるのではないのでしょうか。

今年1年だけで10万戸も『サ高住』(サービス付き高齢者向け住宅)が申請されていますから、まあ 60万戸くらいが10年間で完成しますね。そうするともしかして、ゴールドエイジなどのサ高住に早くから入居される高齢者

が増えると考えられます。

そして賃貸で家賃を支払うだけでなく、分譲住宅のように有料老人ホームを買って住みたい人もたくさん増えますね。1室1室のゴールドエイジを『販売』することになるかもしれません。

さて私は今『タイランド』にきています。4日間いて、バンコク、チェンマイ、パタヤ、ホアヒンの4都市を1日ずつ回っています。毎日6時間ずつタクシーに乗っていますが、だんだん疲れてきましたね。どうして来ているかと言うと、私の契約したタイの物件が工事中止になってしましまして、もう一度ゼロからの物件探しとなった訳です。フィリピン、マレーシア、オーストラリア、ハワイの4ヶ国は昨年にて全て契約して終りました。タイだけが残ってしましました。難しいものです。

そして私は6時間のタクシーの中で考え続けていました。団塊の世代の高齢者が『住んでみたい』と思う都市はこの4つの中の何処なのか...?そして買い物や食事に便利だけど、ちょっと騒がしい中心街か、それとも海や川に近い静かな郊外がいいのか...?

考え方は2つです。介護や医療はちゃんと準備したとして、①あなたは

自然の中で静かにゆっくり余世を暮らしたいのか。②町の中心地で、時にはパチンコや映画館に行つて、ざわざわ余世を暮らしたいのか...?さてどうでしょう。私の場合は60%ざわざわ、40%静かにですね。それが希望ですから①と②のどちらかに決めなさいと言われれば『全く迷ってしまいます』。考え続けましたが、決まらないので契約はしないで日本に帰ることになりました。難しいものですね。

しかしタイは医療も介護も進んでいますし、治安も良く、一年中が暖かくて住みやすい国ですから『高齢者の海外介護生活』にははずせません。どこかに早く決めて、2、3年かけて分割払いでお金を払わないと、一度に1億円、2億円の現金を払うことは私にはできませんね。フィリピンやタイは『住宅ローン』と言うものがあります。人から、『プレビルド』と言われる2年先、3年先に完成する物件を見つけて契約して、1億円なら36ヶ月払いで支払うんですね。

このお金も大変なんです。が、何処にするかを決めることがもつともつと難しいです。と云うことで、『社長』といったしましては10年先をどうするか...?で頭がいっぱいですね。

わくわく

夢

ニュース【高齢者住宅】

WAKUWAKU YUME NEWS

5

May.2013

No.076

きらめくシャンデリアで  
優雅なひとときを…

ゴールドエイジ・ラピーヌ中津川

ひょうたん池を一望できるゆったりとした空間に、  
日本一の庭園を持ちながらも、内観も豪華絢爛!  
空室あとわずかとなりました!ぜひお問い合わせください。

